

研究者としてのキャリア形成を考える～初期キャリアをどのように形成していくか～**【企画内容】**

研究者としてのキャリアをどのように形成していくか、それは時を超えたテーマといえます。本シンポジウムでは、とくに初期キャリア形成に焦点をあて、初期キャリア形成をとりまく状況を踏まえて、キャリア形成の課題について考えたいと思います。

複数の研究職および研究者から、キャリア形成の経験（査読論文への投稿、博士論文作成、研究職の獲得、その後のキャリアデザインなど）をご報告いただき、研究者としてのキャリア形成における重要な姿勢や活動等についてともに考え、キャリア形成におけるヒントを得る機会としたいと思っています。

なお、キャリア形成過程は、いく通りもあると思いますが、社会福祉学領域ならではのキャリア形成過程、さらには、子育てをしながらのキャリア形成過程を考慮して、下記のような過程を取り上げ、それぞれの立場からご発題いただき、どのようにキャリア形成していくのか、そして、キャリア形成においてどのような支援が求められるのか、みなさんとともに考えたいと思います。

【シンポジスト(報告順)】

第1報告：二渡 努（東北福祉大学）

大学院→専門学校・行政機関等→大学等研究機関の研究職

第2報告：鈴木 浩之（立正大学）

実践現場→大学院→大学等研究機関の研究職

第3報告：本田 優子（大阪労災病院治療就労両立支援センター）

実践現場→大学院→実践者であり研究者

第4報告：小高 真美（武蔵野大学）

子育て中の大学等研究機関の研究職

【司会】

保正 友子(日本福祉大学) 日本社会福祉学会研究支援委員会委員長

【進行】

シンポジウムの主旨説明	10分
各報告 1人につき15分(×4人)	60分
休憩	10分
シンポジスト同士の質疑応答	5分
フロアからの質疑応答	30分
まとめ	5分